

高次脳機能障害支援ツール10：受診時症状報告書



目的：病院受診前に、事前に体調・症状・聞きたいことなどを事前に記録しておくツール
病状や障害について病院へ相談したい内容を事前に記入しておくツール

こんな症状の方におすすめ



- 病院受診の時に何を報告するか忘れてしまう。
- 気になる症状があるが、なかなか改善しない。
- 体のことで不安があるが相談できない。
- 聞きたいことがあるが、だれに聞いたらいいかわからない。

活用のメリット



- 身体症状について医師に報告したため、検査など実施してもらえた。
- 症状に対する薬を処方してもらえた。
- 医師、看護師、薬剤師から生活指導を受けることができた。
- 自分自身の健康に関心が持てるようになった。

支援のPoint!!



- 受診当日までに病院受診日を記入しておき、気になる身体症状などについて、事前に記入しておくとういでしょう。
- 本人だけでなく、家族や支援者も気になる症状について情報共有し、次回受診時に医師や担当者へ相談できるようにしましょう。
- 当日は体温などの健康状態を確認してから受診するようにしましょう。
- 受診時症状報告書は、診察時に医師に見せたり、読み上げるか、もし直接伝えるのが難しいのであれば外来窓口の看護師や医療事務へ依頼してもよいでしょう。
- 可能であれば、自分で病院の受診手続きや会計などができるように覚えてもらうことも大切です。